

環境と経済の好循環のまちモデル事業（一般会計・石油特会）

2,632百万円（2,551百万円）

総合環境政策局環境計画課

1．事業の概要

環境基本計画の見直しを踏まえ、社会の要素も加味した環境と経済の好循環を実現するまちづくりについて、地域の創意工夫のアイデアを募り、第三者からなる検討委員会によって選定された各地域に対して、以下の事業を集中的に実施した上で、その環境、経済、社会の3つの側面の統合的な効果を把握・評価し、国の内外に情報提供する。

（1）地域エコ推進事業

選定された地域における、社会の要素も加味した環境と経済の好循環のための具体的な事業計画の策定、地域の各主体が連携する協議会の活動、事業計画に掲げる地域住民向けセミナーの開催等のソフト事業の実施、事業の効果の把握と評価を、国の委託事業として実施する。

また、平成16年度から始まった本事業の成果と新たな本事業の意義を広く普及させるために、シンポジウムを開催するとともに普及啓発用パンフレットを作成する。

（2）地球温暖化を防ぐ地域エコ整備事業

選定されたモデル地域において、環境と経済の好循環を目指して行われる代エネ、省エネに係る二酸化炭素排出削減効果を有する具体的なまちづくり事業（風力発電設備の設置、建物の高断熱・遮熱化等）の実施に要する費用を交付金として交付する。

2．事業計画

地域の事業計画の策定、事業の実施、事業効果の把握と評価、事業成果の普及を3か年計画で進める。

なお、本事業は平成16年度及び平成17年度から実施している20か所の事業実施地域に加え、平成18年度に新たに5か所の地域で事業を実施する。

3．施策の効果

本モデル事業を実施することにより、二酸化炭素排出量削減等を通じた環境保全、雇用の創出等による地域経済の活性化、地域コミュニティの再生等による地域社会の活性化が同時に実現される。これにより、環境、経済、社会が統合されたまちづくりの成功事例を広く国の内外に示し、このような取組を普及させていく。

環境と経済の好循環のまちモデル事業 ~「平成のまほろば」まちづくり事業~

事業のねらい

地域発の創意工夫を活かし、
幅広い主体の参加を得た、
特色あるまちづくり

二酸化炭素排出量の削減等を通じ、
環境を保全

雇用の創出等により、
経済を活性化

環境保全活動を通じた
地域コミュニティの再生等により、
地域社会を活性化

環境保全をバネ
にしたまちおこし
のモデル

予算の概要 (全国からの公募により選定された地域において、以下の予算を活用)

実施体制の整備と普及啓発などソフト事業の実施

二酸化炭素排出量を削減する具体的まちづくり事業の実施

(石油特会以外の事業の実施)

(一 般 会 計)

- ・地域の各主体が連携する協議体の活動(勉強会の開催、地域資源マップの作成等)
- ・具体的な事業計画の策定
- ・地域住民向けセミナーの開催、環境インストラクターの育成、エコショップ等の認定など事業計画に掲げるソフト事業の実施
- ・効果の把握、評価

「地域エコ推進事業」

(石 油 特 会)

- ・風力発電設備の設置
- ・燃料電池、水素供給設備の設置
- ・建物の高断熱・遮熱化、複層ガラスの導入補助
- ・民生部門における代エネ・省エネ機器等による二酸化炭素排出削減実証事業の実施
- ・木質ペレットストーブの導入等

「地球温暖化を防ぐ地域エコ整備事業」

(例)

- ・エコタウン事業
- ・エコ・コミュニティ事業
- ・エコツーリズム推進事業等

設備設置者は
最低1/3を負担

実施地域:平成18年度選定地域 大規模3か所、小規模2か所(新規)

平成16・17年度選定地域 20か所(継続)

予算規模 [平成18年度選定地域3か年合計(一般会計/石油特会)

1か所当たり 大規模(約2000万円/5億円)、小規模(約1250万円/1億円)]

平成18年度予算:1.415億円(一般会計)+24.8億円(石油特会)

シンポジウム・パンフレット作成等:1,003万円